楢葉町・総合防災ハザードマップ

《洪水から身を守るために》

1. 河川の氾濫の恐れがあるときは、町から「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」を出しますので、速やかに避難準備や避難をしてください。
2. テレビ・ラジオ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。避難準備が出される前に、気象予警報や天候の悪化により、自らが危険あるいは不安を感じた場合には自主避難を行ってください。
3. お年寄りや子どもをはじめとする災害時要援護者の方は早めの避難が必要です。緊急に避難できる近くの建物を決めておくなど、地域ぐるみで対策を考えておきましょう。
4. 避難するときは、動きやすい服装で、2 人以上の行動を心がけましょう。
5. 避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合には、溝や水路に十分注意しましょう。地下室などの浸水も考えられますので、移動や避難路として使用する場合には十分な注意が必要です。
6. 水防活動の妨げになるので、自動車を河川沿いの道路に放置しないようにしましょう。
7. 浸水想定区域外への避難または避難所までの時間的余裕が無い場合は、十分な高さ（浸水想定深さ以上）のある頑丈な建物や高台への緊急的な避難などを考えましょう。
また、自宅で逃げ遅れたときには、電話、懐中電灯、発炎筒などで居場所を知らせ、救援を待ちましょう。

《土砂災害から身を守るために》

1. 長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。土砂災害の多くは、雨が原因で起こります。1 時間に 20 ミリ以上、または降り始めから 100 ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。また、小雨の場合でも、散発するがけ崩れや地すべりが発生することもありますし、大きな地震でも発生する恐れがあります。
2. 土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。
3. 普段から家族全員で避難場所や避難する順路を決めて起きましょう。災害が起きる時、家族全員がいっしょにいるとは限りません。そんな時もあらかじめ避難場所を決めておけば安心です。

■ 土砂災害の前兆

前兆現象とは、土砂災害が発生する恐れが高まっている前ぶれです。前兆現象を見たり聞いたりしたらまず避難し、その後、町や県に連絡をお願いします。

●がけ崩れ
- 斜面から異様な音や地鳴りが聞こえる。
- 普段は澄んでいる湧き水が急に濁る。
- がけに亀裂が入る。
- がけから水が湧き出る。
- がけから小石が落ちてくる。

●土石流
- 異様な臭い（土臭い、酸っぱい臭い、木の臭い）がする。
- 雨が降り続いているのに川の水位が急に下がる。
- 山鳴りがする。
- 川の流れが濁ったり流木が混じる。

●地すべり
- 樹木や電柱、墓石などが傾く、建物が変化する（戸の締りが悪くなり隙間ができる）
- 池や沼、井戸の水位が急激に変化したり、濁ったりする。
- 地面にひび割れができたり凹凸ができる。
- 斜面から水が噴出する。

楢葉町役場　〒979-0696 福島県双葉郡楢葉町大字北田字鐘突堂5-6　TEL 0240-25-2111 / FAX 0240-25-5564
http://www.naraha.net/　E-mail : web@naraha.net

《津波から身を守るために》

1. 地震のあとは必ず津波に注意しましょう。強い地震を感じたら、すぐに海浜から離れ安全な場所に避難しましょう。
2. 地震を感じなくても津波が来ることがあります。津波警報が発表されたら沿岸の危険な区域にいる人はすぐに避難しましょう。
3. 津波が海を伝わる速度は非常に速く、津波が見えてからでは逃げ切れません。津波から逃れるためには、すばやく高台や高い建物に避難しましょう。
4. 津波の高さは、海岸の地形などの影響を大きく受けます。特に河川沿いなどが高くなりやすく危険です。
5. 津波は 2 回、3 回と繰り返し襲ってきます。しかも、第 1 波の高さが最大限と限りません。
6. 津波の前に潮が引くとは限りません。突然大きな波が襲ってくることがあります。
7. 津波は高さ 50cm 程度のものでも立っていられない可能性があり、流されてしまうことがあります。
8. 近所の人と協力しながら、避難所まで徒歩で避難しましょう。自動車での避難はやめましょう。

■津波注意報・警報標識 （気象庁告示 ー 予報警報標識規則）

津波注意報及び津波警報を鐘音又はサイレンによって伝達する場合は、次の方法です。

標識の種類	標　識	
	鐘　音	サイレン音
津波注意報 標　識	（3 点と 2 点との斑打）●－●－●　●－●	（約10秒）○―　○―（約 2 秒）
津波注意報 及び 津波警報 解除標識	（1 点と 2 個 2 点との斑打）●　●　●－●	（約 10 秒）○―　（約 1 分）○―（約 3 秒）

標識の種類	標　識	
	鐘　音	サイレン音
津波警報 標　識	（2 点）●－●　●－●　●－●	（約 5 秒）○―　○―（約 6 秒）
大津波警報 標　識	（連点）●－●－●－●	（約 3 秒）○―　○―（約 2 秒）（短声連点）

注）1「津波無し」の津波注意報を行った場合は、標識を用いない。
　　2 鳴鐘又は吹鳴の反応区は、適宜とする。

■津波警報・注意報の発表

地震による津波の恐れがある場合、想定される津波の規模に応じて「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されることがあります。通常地震情報とあわせて伝えられます。

予報の種類		解　説	発表される津波の高さ
津波警報	大津波	高いところで3m以上の津波が予想される。厳重注意。	3m、4m、6m、8m、10m
	津波	高いところで2m程度の津波が予想される。要警戒。	1m、2m
津波注意報	津波注意	高いところで0.5m程度の津波が予想される。要注意。	0.5m

■避難時の持ち物

洪水時の避難には、次のようなものがあると便利です。
日ごろから準備・点検し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

食料・飲料水
- 缶詰、乾パン、チョコレート、ミネラルウオーターなど。
- 缶切り、紙皿、紙コップなど。

ラジオ・懐中電灯
- ラジオ（ＡＭ・ＦＭ両方聴ける）・懐中電灯。
- 予備の乾電池も忘れずに。

医薬品
- 消毒液、内服薬、包帯、ばんそうこう。
- 持病のある人は常備薬を忘れずに。

貴重品
- 現金、保険証、通帳（印鑑）、免許証など。
- 停電時の公衆電話用に 10 円硬貨も必要。

赤ちゃんのいる家庭
- 紙おむつ、ミルク、哺乳瓶、飲料水など。

そのほか
- 携帯電話。
- 上着、下着などの衣類。
- 合羽、タオル、ローソク、ライター、ロープ、ビニール袋など。

高齢者、体の不自由な方のいる家庭
- 常備薬、介護用品など。

■伝言ダイヤル（ＮＴＴ災害用伝言ダイヤル）

災害発生時において、家族や友人など被災した場合の安否確認や連絡などに活用できます。事前契約などは不要です。（平常時には利用できません）

NTT災害用伝言ダイヤル 171 をダイヤル

ダイヤルすると音声ガイダンスが流れます。

メッセージを録音するとき
1 を入力 → 録音
↓
被災者の電話番号を入力
（××××）××-××××
↓
楢葉町の場合は
（0240）＋ 自宅の電話番号

メッセージを聞くとき
2 を入力 → 再生
↓
被災者の電話番号を入力
（××××）××-××××
↓
楢葉町の場合は
（0240）＋ 自宅の電話番号

■緊急連絡先

名　称	住　所	電話（0240）	備　考
楢葉町役場	大字北田字鐘突堂 5-6	25-2111	
富岡署楢葉駐在所	大字大谷字鐘突堂 15-3	25-2014	
富岡消防署楢葉分署	大字山田岡字仲丸1-110	25-2119	

■ 広域避難場所

名　称	所在地	備　考
楢葉中学校	北田字鐘突堂 2-1	
楢葉北小学校	井出字上ノ岡 33	
楢葉南小学校	下小塙字麦入 31	
楢葉町民体育館	北田字鐘突堂 5-5	
楢葉町公民館	北田字鐘突堂 5-5	
楢葉町コミュニティセンター	北田字鐘突堂 5-4	
楢葉町総合グラウンド	大谷字上ノ原 73-17	
あおぞらこども園	北田字中満 296-1	

■ 地域避難場所

名　称	所在地	備　考
上井出地区集会所	井出字木屋 106	
鐘突堂地区集会所	北田字鐘突堂 4-36	
萩平地区集会所	井出字萩平 58-1	
下井出地区集会所	井出字前沢 52	
北田地区集会所	北田字中川原 23	
下繁岡地区集会所	下繁岡字篠柄 14-2	
繁岡地区集会所	上繁岡字山神 97-36	
才連地区集会所	上繁岡字山神 163-1	
営団地区集会所	波倉字原 135-7	
向ノ内住宅地区集会所	井出字浄光東 13	
浄光西地区集会所	井出字浄光西 3-51	
波倉地区集会所	波倉字前山 1	
上繁岡地区集会所	上繁岡字堤袋 8-1	
松館地区集会所	上繁岡字中平 198-3	
旭ヶ丘地区集会所	井出字所布 77-29	
大谷地区集会所	大谷字山根 20	
上小塙地区集会所	上小塙字宮平 1	
女平地区集会所	上小塙字女平 218-1	
下小塙地区集会所	下小塙字久保田 63	
佐野地区集会所	下小塙字佐野 98	
前原地区集会所	前原字付念田 16	
山田浜地区集会所	山田浜字上ノ代 27	
山田岡地区集会所	山田岡字五里内 7	
名古谷地区集会所	山田岡字名古谷 51-15	
後沢住宅地区集会所	山田岡字後沢 30	
椴木下地区集会所	下小塙字日暮 1-3	
大坂地区集会所	山田岡字大坂 98	
乙次郎地区集会所	大谷字乙次郎 133	